

## 平成29年度第1回陸別町総合教育会議 議事録

- 1 総合教育会議開催日時 平成29年12月4日(月)  
午後3時00分～午後3時54分
- 2 会 場 陸別町役場 委員会室
- 3 出 席 者 陸 別 町 長 野 尻 秀 隆  
陸別町教育委員会  
委 員 石 橋 勉  
委 員 西 岡 愛 則  
委 員 角 熊 葉 子  
教 育 長 野 下 純 一
- 4 出 席 説 明 員 陸別町教育委員会(事務局)  
次 長 有 田 勝 彦  
主 幹 瀧 口 和 雄  
主 幹 津 幡 恵 一 (給食センター所長)  
主任主査 北 村 正 利 (社会教育担当)  
主任主査 遠 藤 克 博 (社会体育担当)
- 5 協議事項結果  
  
協議事項(1) 教育の魅力化について  
①学校教育  
・小中一貫教育推進事業について  
②社会教育  
・第8期社会教育計画の推進について
- 6 審議経過 次のとおり

有田次長	ただいまから、平成29年度第1回陸別町総合教育会議を開催します。 はじめに、野尻町長からご挨拶申し上げます。
野尻町長	平成29年度第1回陸別町総合教育会議を開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。 皆さまには、教育のことはもちろんのこと、町行政のことにご協力をいただいておりますことお礼申し上げます。 さて、陸別町「人口ビジョン」・「総合戦略」を策定しまして、地方創生を積極的に進めているところであります。 移住・定住支援の充実、また結婚・出産、子育てしやすい環境づくりについて、力をいれ推進しております。子育て支援、また移住定住促進のためにも、教育の果たす役割というのは大きいと実感しているところであります。 本日は、決定を行う内容のものはございませんが、陸別町が取り組んできている小中連携教育を進化させ、小中一貫教育推進事業を進めると聞いておりますので、協議事項とさせていただきます。 また、昨年度からスタートしている「第8期社会教育計画」についても、あらためて主な内容を説明させていただき、外から見た「魅力のある教育」の観点などから、現状の課題と成果や当面の対策と将来の夢などを含め意見を出し合っていただきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見を出していただきますことをお願い申し上げますが簡単でございますが挨拶とさせていただきます。
有田次長	それでは議事に入りたいと思います。ここからの進行は、野尻町長にお願いします。
野尻町長	それでは、協議事項(1)教育の魅力化について、①学校教育「小中一貫教育推進事業」について事務局より説明をさせていただきます。
有田次長	担当の瀧口主幹より説明をさせます。
瀧口主幹	カラー刷りの資料をご覧ください。 陸別町教育委員会の方針として、平成28年度に制度化された小中一貫教育に取り組めます。学校のスタイルとしては、併設型の小中一貫型小学校及び中学校という位置づけとなります。 当町では平成16年度から「小・中学校連携教育推進事業」の取り組みを開始し、小学校から中学校への進学の際、円滑な接続を目指してきました。また、平成26年度から3年間は北海道教育委員会の指定を受けて、ほっかいどう学力向上推進事業「小中連携、一貫教育実践事業」に取り組んできました。 これらの経験を活かしつつ発展的な取り組みとして、平成28年4月1日施行の改正学校教育法により制度化された、義務教育学校に準じた併設型の小中一貫校として平成31年度のスタートに向けて進めてまいります。 それでは、A4版縦書きの資料でご説明いたしますのでご覧ください。 陸別町の小中一貫教育とは、義務教育最終となる中学3年生卒業段階での「目

指す子ども像」を小・中学校が共有し、また教育目標を共通して設定し、9年間を見通した一貫性のある教育課程を編成するなど、系統的な教育・指導を目指す教育であり、児童生徒及び保護者に、この教育を保障する教育のことであります。

具体的には、9年間をひとまとまりと捉えた学校目標の設定や、9年間の系統性を整理した小中一貫カリキュラムの作成、また9年間を見通した学習・生活規律の設定などが上げられます。

目指す中学3年生の姿として、メインとして『町ぐるみで育む きらりと光るりくべつの子ども』とし、サブとして～町への誇りと、温かなこころを持った子～と掲げました。

「きらりと光る」とは、子ども一人一人の個性や能力が成長していくことと捉えております。

取り組みの背景としては、町内に1校ずつしかない小・中学校が、それぞれの教育活動を推進するよりも連携・一貫して取り組みことにより大きな効果が期待できる。また、いままで実践してきた連携教育の活動を発展的に活かすことができることによります。

右側には「目指す一貫教育の姿」として4点を掲げております。学力の定着や豊かな人間性と社会性を育成することはもちろん、加えて、9年間を見通した一貫性・継続性のある指導、ふるさと教育の充実であります。

これらを進めていくにあたり、「陸別町小中一貫教育推進委員会」を運営組織として立ち上げて関係者が同じ目線で進めてまいります。また、委員会の下に5つの部会を置き、具体的な協議検討を進めてまいります。この運営組織は、平成29年度から努力義務とされた「学校運営協議会の設置」いわゆる「コミュニティ・スクール」の設置にも密接な関係を持つ組織となるものであります。当町としては、小中一貫教育と同様に平成31年度の導入を目指しております。

取り組みの重点としては、学力の定着、体力の向上、ふるさと教育のほか、いままでは叶わなかったことですが、平成27年度から完全給食が実施されましたので、給食に提供される食材を生教材として活用する食育の推進ができるようになりました。また、発達支援センターに類する機関がない当町として、手薄となることのないように特別支援教育にも関係機関と協力して重きをおいてまいります。

取り組みの手順としては、ご覧のとおりであります。主な取り組みとしては、下段の囲みにあるとおりで、①②③は北海道教育推進計画でも指摘されている事項であり、④のその他として、ふるさと教育の充実、子ども一人一人の個性、能力の伸長を促すとともに、今まで培ってきた従来の取り組みも継続して実施していこうとするものであります。

資料の裏面をご覧ください。こちらには、一貫教育の推進スケジュールを記載しております。平成29年度は現状の把握と分析による課題整理と改善に向けた検討を行います。

先月、11月21日に陸別町教育研究大会が中学校を会場として実施いたしましたが、その後段の時間を用いて教育委員会から一貫教育推進事業の説明を教職員全員を対象として実施し、質疑応答を受けながら、この事業の成功に向けて共通認識を持っていただいたところです。

平成30年度は小中一貫教育に向けた準備期間として更に協議を進め、平成3



西岡委員	<p>最終的には、中学3年生が終わって、卒業したときにどいういう人間性とかどいう学生を育て上げるかということが目標だと思うのですが、この前の学校訪問のときに校長先生達と協議したときに、こいう小規模の学校から高校の大規模な学校に入ったときにちょっと問題が起きることがあるとちらっと聞いたので、そいう子に対して何か対処できる方法がないものかということをおもうのですが。</p>
野尻町長	<p>今の質問について、委員会的にいかがでしょうか。</p> <p>最終的に中学卒業するときどんな人間に育て上げるかということなんですが、あとのことでは小規模校から大きなところへ行ったら、いろいろな問題が発生しているというご意見なんですけど、なにかそれに対して教育長。</p>
野下教育長	<p>先に開催した小・中学校の管理職と教育委員との教育懇談会の中で確かに出ました。自分の考えとしては、陸別の良さの中で満足していないで、自分の能力の高みを極めるというのか、そのためには学力という、自分の希望に進むための学力を目指すということだとか、自分の意見をしっかり持って、人の前でも発言できるという言語能力という一般的にはコミュニケーション能力を低学年のうちからしっかり各教職員が共通目標に持って輝き続けてもらうことが一番大事なことだろうと思っています。</p>
野尻町長	<p>私どもの側でも、陸別から高校受験して受かって、そして無事やれやれと思っていたところ、いろいろなことで学校を辞めざるを得ないという事例が結構あると思います。その辺のところを教育長が説明したのですが、陸別の良さが逆に合わないという面もありますが、今の説明でよろしいでしょうか。</p>
西岡委員	<p>何かいい方法が、こいう事業をきっかけに見つけられればいいのですが、本当に難しいとは思うんですね。</p>
野尻町長	<p>そいう意図も踏まえながら進めて行くということでよろしいでしょうか。ほかに。角熊委員どうぞ。</p>
角熊委員	<p>平成31年度から小中一貫教育を推進しつつ、スタートということで、この会議の2番目の議題になる社会教育計画の第8期は平成32年度まで上がっているわけですけど、コミュニティ・スクールが平成31年度から小中一貫教育と同時にスタートとなりますと、この社会教育の分野とコラボレーションと言いますか、人材の交流も含めて、どうしても一緒にやっていかなければならないことがたくさんあると思うんです。</p> <p>この社会教育計画が平成32年度まで決まってしまうので、その辺り、上手いこと平成31年度コミュニティ・スクールのスタートから、一緒にやれるところは乗り合わせと言いますか、そいう工夫が必要になってくると感じられると思うのですがいかがでしょうか。</p>

野尻町長	<p>今の意見ついていかかでしょうか。次長。</p>
有田次長	<p>確かに一貫教育、コミュニティ・スクール含めて31年度開始ということで、平成30年度が準備期間となっております。</p> <p>確かに社会教育に関しては、このあとも説明はさせていただきますが、とりあえず5年間を見据えています。その先も見据えた形の中期計画としてつくっているという状況です。</p> <p>角熊委員おっしゃったとおり上手く棲み分けもしながら一緒に取り組んでいけるところは、取り組んでいければいいかなと思っていますけど、まだどちらも始めたばかりで、今言われたところを想定して始めから設定した形になっていないものですから、その辺り今言われたところも十分踏まえながら進めていきたいと思えます。</p> <p>今陸別は、人口が少なくてどこの委員会だとか団体をつくっても限られた人間のなかでやりくりしていかなければならないところがありますので、どうしてもたくさん団体つくってもどこにいても同じような人がいるというのが現状かなと思いますので、その辺も負担感のないようになるべくとりまとめた中での委員会だとか進め方ができればいいかと思えます。我々も勉強しながら進めさせていただきたいと思っています。</p> <p>あまり回答になっていないかもしれませんが。</p>
野尻町長	<p>よろしいでしょうか。その他ありませんか。</p> <p>なければ次に進めさせていただきます。</p> <p>②社会教育、第8期社会教育計画の推進について、事務局より説明をしてください。</p>
有田次長	<p>第8期陸別町社会教育計画という冊子をもとに説明させていただきます。</p> <p>これは第8期陸別町社会教育計画から抜粋したものを資料としてご覧いただいているところです。この計画は平成28年度から平成32年度までの5年間ということですが、これを第1ステージとして捉えています。このあと説明にも出てきますけど、第2ステージ、第3ステージということで、15年間ぐらいの先を見たなかで長期計画も含めて提示をしているところであります。</p> <p>町内には小・中学校ありますけど、こちらの方の整備は進んできているという状況なんですけど、社会教育・社会体育の整備が今ちょっと止まっているという状況です。この辺の整備が必要と感じておりますので、今回につきましてはその辺に焦点を当てて本日協議をさせていただきたいと思っております。</p> <p>お手元の資料1. 基本構想というところですけど、全部説明すると時間がかかりますので、①長期的な基本理念とスローガンの設定の4行目、「15年を目安とする長期的な基本理念と基本目標を掲げ、そのうえで具体的な中期計画を提言する」ということで、この15年とは、今回の5年が第8期ですけど、これを第1ステージとして、3つのステージとして分けていきたいと思えます。</p> <p>2頁をご覧ください。</p> <p>②基本目標の展開のイメージ</p> <p>この基本理念とスローガンを長期的な基本目標の中心に据えたうえで、5年ご</p>

とに社会教育中期計画を策定していきますが、この15年間の大まかな展開を以下のように設定しますということで、今第1ステージということで5年ごとに区切っています。

第3ステージが、「地域の教育力を維持するための担い手を世代循環させる試みと社会教育施設の充実」ということで、約10年先位を見て社会教育施設の充実に取り組んでいきたいというふうに考えております。これを目安とすれば、平成38年から平成42年の5年間とっておりますけど、施設を整備するうえではなかなか一石二鳥にはいかないということで財源的なこともありますけど、まず基本計画をきちっとつくっていくなかで基本設計、実施設計、改修に進んでいくということなので、今のうちからある程度構想をもっていかないとなかなか10年後になっても何かをすぐ造るということにはならないかなと思っております。

それでは本日の資料の6頁をご覧ください。

社会教育施設・社会体育施設ということで今回は主に社会教育施設のなかでは公民館に焦点をあててご説明させていただきます。

6頁の「③地域の教育力が向上していることを可視化する仕組み」ということですが、このあと6行目のところから「社会教育の推進」の進展をどう分かりやすく視覚化するかということですが、そのために必要なのが社会教育・生涯学習の拠点としての「公民館」の存在ですということで、その公民館を「地域の教育力向上の拠点」としてより明確化にして、この取扱いをどうしていくのかというところが必要なかなと思っております。

そのあと、公民館に活気が生まれること、これは地域の教育力が向上しているという認識が定着すれば、第3ステージで目標としている生涯学習施設の新設の合意形成も果たせるようになるのではないのでしょうかということになります。

新設という記載もしておりますが、これは新設ありきではないということで、あくまでも今の環境のなかでの公民館活動の充実が第一でありますので、その充実に向けた拠点づくりが必要になってくるというふうに捉えております。

公民館については、皆さんお立ち寄りいただいたことがあるかと思いますが、今、公民館においては視聴覚室と図書室、それと団体利用の貸室・陶芸室があります。ただ、今のスペースですと公民館は子どもの居場所ということが一点と、逆に一般の方が図書室として使うというスペースということになりますが、これが利用者からすると、静かに本を読みたい図書スペースのすぐ側に、子どもたちが居場所として使う場所があるということで、確かに子どもたちの声が聞こえてきて賑やかだということで、この部分については一部苦情も寄せられていることなので、陸別として子どもの居場所としての機能を優先させていかなければならない公民館、また図書館のない町の唯一の図書スペースということで、この辺が若干矛盾を抱えた施設の現状となっているということです。

また、貸室がすべて二階にありますけども、主にカラオケだとか文化協会の加盟団体の方の利用が主体となっておりますが、構成員の高齢化が進んでいなかなか二階の貸室を使ってということが段々難しい、二階まで行くのが大変だということで利用者数が減少しているという状況がありますので、この辺も含めた取り組みも必要になってくると思っております。

今、目に見えるような活発な活動ということまでいきませんが、この第三ステージに向けたより利便性の高い公民館もしくは生涯学習施設としての併用を

図っていく必要があるのかなと思っております。

当然そこには、子どもの居場所の確保、それから読書推進の拠点、高齢者の方の利用しやすい団体利用スペースの確保、それから今町内に無いのですが、通学合宿等宿泊を伴う研修スペース等が今課題となっていますけど、これらのいろんな公民館活動を含めた生涯学習の充実を含めていくとなると、この辺の施設の充実というのが必要になってくるということになりますと、今の現存の施設の改修で済むのか、もしくは新たな建物が必要になるのかというところの、これは検討・協議していかなければならないのかというふうに事務局では思っているところであります。

公民館につきましては、参考まで昭和57年12月に建設、58年に供用開始している建物で、30年以上経過している施設であるということもお含みいただきたいと思っております。

続きまして、7頁です。7頁はスポーツの推進ということですが、こちらに關しても施設面についてということで説明をさせていただきたいと思っております。

7頁「③地域住民が集う場と機会を提供しているスポーツ施設」ということですが、人口規模の小さい陸別町では娯楽施設も少なく、町外に遊びに行くにしても隣接する町には車で30分、今回、北見まで高規格道路ができ、大分近くはなりましたが、帯広・北見までは1～2時間以上と時間のかかる地理的条件下にあります。こうしたなか、子どもからお年寄りまで、気軽にいつでも楽しむ事ができるのがスポーツであり、そうした場を提供しているのがスポーツ施設です。

スポーツ施設を、このように町民への娯楽提供としての施設として捉えれば、社会教育における地域住民が集う「場」と「機会」を提供する重要な施設であると認識しています。

こうした認識のもとに、そのほとんどが設置から長期間経っている町内スポーツ施設の改築や再編成を考えていく必要性があるのではないかと考えております。

特にスポーツ施設ということですが、教育委員会が所管しているスポーツ施設は、ほとんどが開設から30年以上経っている施設が主体を占めます。

これらには、特に具体的施設を申し上げますと、町民要望の多い屋内施設として町民プールです。こちら昭和57年に造られた施設であります。

温水の施設ではありませんので、なかなか利用時間が短い、6月から9月までということで、今、水泳少年団も活発に利用していますが、使えない期間は足寄町や訓子府町のプールを利用しながら活動しているという状況です。

それから野外活動施設にいたしましても、30人用と72人用と2つありますが、特に30人用の古いほうは、昭和60年に建設、それから大きいほうの72人用は平成5年ということで、いずれにしてももう大分老朽化してきているという状況でこちらを考えています。

それからスケートリンクにつきましても、今の場所で昭和41年から使用しているところですが、管理棟とかメインスタンドは平成2年、平成9年にそれぞれ新しく造られているところがありますけれども、こちらについても、現状での場所で実施が本当にいいのかということで、実は陸別小学校のグラウンドへの移設も視野に入れています。学校側に協議しましたら、授業でわざわざリンクまで



行くことを考えると小学校のグラウンドにあってもいいのかなと思っているということですが、ただ、造成・維持については町の方でお願いをしたいということを考えているということでもあります。

あと、町民運動場と言いますとテニスコートもあるのですが、今照明付きの2面がありますけど、どうしても土のコートで、毎年建設業協会において毎年ボランティアで転圧など行っていただいておりますが、土のコートということで維持管理がなかなか上手くいかない状況もあってこの辺も全天候化などの施設改修もできればと思っております。

それから緑町のスポーツ広場につきましても以前はあそこに野球場とかサッカー場以外の施設があったのですが、今はサッカー場のみということで昭和61年からの施設であります。こちらも緑町まで、陸中サッカー部、サッカー少年団が練習に行っている状況ですけど、今後と言いますと、文教施設の集約化から見ますと今ある小・中学校の近辺、例えば、中学校のグラウンドを芝生化することによって、部活・少年団が両方で使えるような施設にならないかとかという集約化も視野に入れてもいいのではないかと思っております。

その他、野球場とかそれからスキー場もそうです。リフト等も昭和58年に新設しているものでありますけど、これも新たなものに更新していくのか、もう老朽化して使えなくなった時点でリフトの設置は終えて行かなければならないのかということも今の利用者数を含めていながら検討・協議していかねばならないと思っております。

いずれにしましてもほとんどが30年以上経過しているもので、どの施設も数千万から物によっては億というお金がかかるということであれば、長期的に見て順次新たな物を造れるものは造っていった利用者側の利便を図っていくことによってより今までスポーツ施設等に参加されていなかった方達がより多くそういう施設に赴いて来ていただけるのか、また町外から訪れた人も、例えばコテージ等の利用もありますけど、夏場ではプールに来ていただいていたたり、テニスコートで活用していただいている方がいます、人数は少ないですが。陸別で喜ばれるのは全て施設が無料であるというのが大変喜ばれているということでもありますので財政的には厳しいと思っておりますけど、そういう町民、町外の方の娯楽の場所の一つとしてこの辺のスポーツ施設の整備は、今後、早急に必要でないかというふうに考えております。

そういう意味合いを含めて本日の提案ということでこちらからの説明は終わらせていただきます。

以後、質問等によりお答えしたいと思います。

野尻町長

ただいま事務局から説明を終わりましたが、皆さんもご存じのように日本全体が道路や橋を含めたインフラが老朽化で国土強靱化が今、声高々に叫ばれてそれなりに向かっている訳ですが、今、次長から説明があったように社会教育施設の充実、あとスポーツ施設について後段に説明していただいたとおり、すべてにおいてかなりの説明どおり年数が経っていると。わたしども例えば、小学生、中学生のみなさんと話しをしても、そういったものを希望されるということが多くですし、町民の皆さんもスポーツ施設などは、スポーツだけでなく娯楽の意味と健康増進にも役立つから、気楽に使えるそういったものを欲しいという意見も出て

<p>石橋委員</p>	<p>いる訳なんです、これはかなりお金もかかることですし、全部いっぺんにということには行かないんでその順位といいますか、そういう合意形成に結び付けていくといった仕組みづくりが大切なと思っておりますが、皆さんの忌憚のないご意見をいただきたいのですがいかがでしょうか。</p> <p>公民館の話ですが、昭和57年に建設されたのかい？築35年位になるね。</p> <p>これ当初から問題があるなという話しはあった。ちょっと造り方、中身、機能そのものが充実という事ではなく使いにくい形になっている。利用している人は利用している。利用していない人は全くしていないという問題もあるし、早い話、使いにくいという面が多いのかな。</p> <p>それと充実という面でも幅が広いんだけど、やはり陸別町のなかでやって欲しいのは、公民館の改築なり急いで欲しいなというのは、ちょうど陸別のスクールゾーンからの帰り道だから、ある程度充実して使いやすいとなれば、多くの児童生徒、一般の人含めて来ると思う。要するに中身が使いにくいというか使っていないものもある。配慮して欲しい。</p> <p>もうひとつ、リンクも大変土質の悪い場所が何カ所かあって、リンクの造成は大変苦労もするし、金もかかっている。あれあたり、小学校だったら土質もいいから今の状態で直ぐに雪が降れば転圧して直ぐにできるという話しでそんなに修正しなくてもできる。あと日本一寒い町だから少しでも早くスケートに全員が馴染んで乗れるような形にしてもらえれば良いと思う。向こうに行くのは不便だしね。地元の建設屋さんが造成しているけど、大変苦労しているようだ。</p> <p>年間300万円くらいかけて造成するんでしょ。</p>
<p>有田次長</p>	<p>維持造成費は100万円を超えております。</p>
<p>西岡委員</p>	<p>小学校では、大会ができるようなスペースはあるのか。</p>
<p>有田次長</p>	<p>大会というと俗にいう400Mトラックと言われるが、小学校に移転すると、200Mとか、250Mの小さなもので、正式な公式のリンクとはなりませんけども、特に小規模校等でいうと、そういうリンクでも大きな支障はないのかなというところで、例えばそこで成績が上がっていったって特に小学の上級生あたりだと大人に近いスピードで滑ってくると、本格的なリンクとなると、その時については隣町の足寄に立派なリンクがありますので、大きなところでより技術向上を目指すということで、通常のよちよちの小学生あたりだと250Mリンクでも支障はないというふうに感じています。</p>
<p>野尻町長</p>	<p>その他ありませんか。</p>
<p>石橋委員</p>	<p>プールについても、隣町に立派な施設がある。</p>
<p>有田次長</p>	<p>プールについては、プールの施設自体が、使えてはいますけど、いろいろ濾過循環器だとかボイラーを含めていつ使えなくなってもおかしくないレベルではあるかなと思っています。</p>

	<p>水泳少年団もけっこう人数が多くて盛んにやっているというところで、こちらのプールはどちらかというと小・中学校の授業でも使っているのだからプールを無くすということにはならないのかなと思っています。逆に早急にこちらの方の改修を含めてやっていきたいと、これはもう通常の一般の利用者だけでなく、小・中学校の授業等でも使っているという関連から見ると、そこを隣町までとなると学校の時間数を含めると不便なのかなというふうに思っています。</p>
西岡委員	<p>生徒達にとって場所的には一番いいところにある。</p>
野尻町長	<p>次長の説明にもあったけど、今活発に間違いなくやっていることは一生懸命やっている。日本一寒いところのプールが日本一寒いのも気の毒だなという気もしているのですが。</p> <p>他によく出るのは、宿泊を伴える研修施設という声も聞くのは間違いないので、そこら辺は必要なのかなと思うんですが、そこら辺も含めて考えていかなければならないと思っています。</p>
石橋委員	<p>宿泊ができる研修施設というのは、泊まれるし、その泊まった同じ場所で研修もできるようなことですか。</p>
野尻町長	<p>そうですね。足寄のネイパルの小型版のようなもの。</p> <p>その辺も積極的にご意見いただきながら実現していけるように持っていきたいと思っています。</p>
野下教育長	<p>せっかく町長の方から提案もあったので、今、この社会教育計画は、第一ステージを現状の施設を有効に分析しながら使っていこうという段階なんですけれども、将来に飛ぶ話しになるのかもしれないけれども、今、自分としては、町長から話しのあった宿泊施設の青少年が泊まりながら研修できる施設を設けながら、子どもたちの活動拠点を充実化させたいという思いがあります。</p> <p>そのためにも、内部で話しをしているのですが、施設ありきの話しではなくてしっかり人口動態も含めて、当然財政も伴ってきますのでしっかり現状を見極めながら検討していくということになるのかなと思うのですが、常々、施設ありきの話しになるのかなと思うのですが、当然場所的なものも出てきますし、今の機能を損なわないで移行するということも考えていかなければならないというふうなことで、将来は、高齢者の方々も含めたというか、私としては世代間ではなくて多世代という、後継者等で悩んでいる文化団体もありますし、体育団体もそうですけれども、一堂に会した活動ができる施設というのが理想なのかなと思っています。そういう機能を公民館のなかでは、ちょっと機能的にも先ほど矛盾したという表現がありますけれども、図書室と視聴覚室のお互い矛盾した配置というのかこれを改善していかなければならないと思います。</p> <p>将来は陸別町が持続維持していくためにも町外からの入り込みをどうしても確保していくという拠点も必要になってくるのかなと思います。そういう内々の施設も大事ですけど、ここで、今下地を作って将来には町外の方とも、大きく言えば世界の方々とも交流を図っていけるような総合的な施設があってもいいのかなと</p>

野尻町長	<p>いう考えを持っています。それに向けた具体的な今の施設の活用と改修等を検討していかなければならないのかなと思っています。</p> <p>はい、やっぱり生徒数も減って、陸別単独で野球チームができないとかサッカーチームができないとか、いろんなことがあります、子どもの数が少ないからそういうものは要らないということには絶対ならないというふうに理解しています。教育長の話の中にありましたように少しいろんな知恵を使いながら、それぞれあったものを複合的なものを考えてみるとか、いろんな方法はあるのではないかというふうに思いますので、そこら辺含めて考えていく必要があるのではないかというふうに思っています。</p> <p>そのほかありませんか。</p> <p>(「なし」)</p>
野尻町長	<p>それでは、今日、出された意見については、それぞれ協議したとおりそれぞれの責任の分野において取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>その他について、事務局の方からはありませんか。</p> <p>(「なし」)</p>
野尻町長	<p>その他について、委員の方からはありませんか。</p> <p>(「なし」)</p>
野尻町長	<p>よろしいですか。それでは、これをもちまして、平成29年度第1回陸別町総合教育会議を閉会します。</p> <p>なお、この総合教育会議は、基本的に不定期の開催となっております。それぞれ案件があるときに必要に応じて開催させていただくことにさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>

(終了時間 午後3時54分)